



学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校 平成28年12月22日 第9号

経験して見えてくる力 ～ 体験により学ぶ力 ～

校長 羽二生 裕



将来の夢を語る6年生

今年の冬は、今のところ例年にない暖冬です。暑い8月の終わりから始まった80日間の2学期が終わろうとしています。振り返れば、秋の遠足、5・6年生が参加した市の陸上大会、校内マラソン大会、文化祭での学習発表会、アミューズメント佐渡での器楽部の演奏、特技発表会など多くの行事がありました。私は、学校は学びの場であり、これから社会に出ていく子どもたちの人間関係力を身に付けていく場であると考えています。この2学期、子どもたちは教室での学びや活動等を通して、友達や先生と学び合う楽しさや自分ができた喜びなどを色々な場面で感じ取ったと思います。

6年生が2学期の始めからずっと休まずに国道沿いの金井保育園入り口や保育園への歩道で、登校する子どもたちに朝の挨拶運動を続けています。私は、「雨の日や風の強い日には無理だろうな。」とっていました。しかし、この80日間一日も休まずに、6年生の挨拶応援隊は、朝の挨拶運動をやり続けました。校長として、「お見事・立派・天晴れ」と言わずにはおれません。金井小のよき伝統を創りあげました。金井小の教育目標は『よく学び(知)助け合い(徳)やりぬく(体)よい子』です。金井小学校では、様々な教育活動を通して、知・徳・体のバランスのとれた子どもを目指しています。その中の「やりぬく力」は、なかなか目に見えないものです。その形の表れとして、例えば「継続してやり通す姿」や「あきらめないでやり切る姿」などがあります。私は、それらの力はこれから生きていく中で、色々な場面に生かされる力であると信じています。素直にやり通そうとする粘り強さが、金井小の子どもたちのいいところです。勿論、日々それらを支えている先生方の力があります。「チーム金井小」としての職員の力と言えます。

更に、嬉しかったことは、5・6年生が市の陸上大会に参加し、朝から5・6年生全員が学校にいない日に、4年生が6年生に代わって、朝から挨拶応援隊をやり遂げました。日々の6年生の姿から「今日、自分たちにできることはないかな?」と考えて、4年生の子どもたちが朝から挨拶応援隊をボランティアでやりました。金井小のよき伝統を受け継ごうとする4年生の頑張った姿を後で教えてもらい、思わず4年生に拍手をした2学期の一日でした。



4年生の挨拶応援隊

この80日間の2学期、大きな事故やケガもなく349名の子どもたちは元気に学校生活を送りました。18日間の冬休みが終わると、いよいよどの学年も一年間の総仕上げの学期を迎えます。「光陰矢のごとし」と申しますが、新しい年も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。保護者や地域の皆様、どうぞよいお年をお迎えください。